

他者の見方を認め、受け入れ、自分の見方を広げようとする態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 豊岡市立八条小学校 山根 啓樹

本時の目標 ・身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。	校種・学年	小学校・4年
	教科・領域	図画工作科・鑑賞
	アプリ・ソフト	・Google スライド ・Google フォーム
	備考	

○本時の展開

○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	○本時のめあてを確認する。 作品から感じたことを伝えあって、自分の感想に生かそう。 ◆大型提示装置で教科書を拡大投影し、見方の例を示す。
展開	○グループで美術作品を鑑賞する。 ○感じたことや考えたことを、図形や吹き出しなどを使ってスライドに挿入する。 ○友だちのよかったと思うコメントには、別の色の吹き出しでコメントし感じたことをつなげていく。 ◆班ごとにスライドのデータが共有できるよう、データをクラウドに保存し、共有しておく。
まとめ	○友だちの作品への感じ方について、どう思ったのかをふり返る。 ◆ふり返りが即座に共有できるようオンラインフォームに入力させ、結果を表示する。

育成できる情報活用能力

◎1つの作品に対して、複数で感想を挿入することで、同時編集を体験しながら協働的に活動を進めていくことができる。




児童の感想
<ul style="list-style-type: none"> ・友達のコメントから「そういう考えもあるんだ。」と知ることができて楽しかったです。 ・思ったことをたくさん書けたから、作品のいいところをたくさん見つけることができました。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・「感じたこと」という抽象的な事柄を言語化する際、同時編集させることで、題に向かって協働的に取り組む姿を育成することができた。
- ・同時編集の良さを体験し、他教科においても活用しようとする姿勢につながった。

発信方法を目的やチームの個性に合わせて選択して、考えを表現する力

HYOGO スクールエバンジェリスト 丹波市立吉見小学校 安田 翔

<p>本時の目標</p> <p>・友だちと協働で造形した作品を紹介する手段を話し合いて選択し、その手段をもとにプレゼンテーションを準備することができる。</p> <p>・造形した時に工夫したことや感じたことを表現することができる。</p>	<p>校種・学年</p> <p>小学校・4年</p>
	<p>教科・領域</p> <p>図画工作科・造形遊び</p>
	<p>アプリ・ソフト</p> <p>・カメラ機能 ・Google スライド</p>
	<p>備考</p>

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
<p>導入</p>	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>グループで作った作品をみんなに紹介する準備をしよう</p> </div> <p>◆これまでに使ったことがあるプレゼンテーションの方法を想起させ、本単元では Google スライドを使うことを伝える。</p> <p>◆グループで、写真を使ったスライドショーか、動画を使ったスライドにするかを選択させる。</p>
<p>展開</p>	<p>○グループで発信方法を選択する。</p> <p>○各自が考えた工夫や感じたことをグループで共有し、まとめる。</p> <p>○撮影し、編集する。</p> <p>◆編集に必要な操作方法は、操作法補を未習得の児童を対象に行う。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○本時の振り返りを行う。</p> <p>◆振り返りは、Google スライドのコメント機能で行わせる。</p>

育成できる情報活用能力

◎発信する方法を、目的やチームの個性に合わせて選択することができる。



目的から選択の例

立体的な作品や、工夫などを動かしながら説明する必要がある場合、動画を選択する。

個性から選択の例

人前で表現することが苦手な子が多いグループは、事前撮影できる動画を選択する。

育成できる情報活用能力

◎他者参照ができ、より多角的に物事を考えようとするすることができる。



児童の感想

- ・みんなの発想がちがっていて面白かった。自分の事しか考えていない子がいなかったのがよかったです。
- ・すごくいい作品ができました。まとめるときに、社会の学習で習った方法でできたのがうれしかったです。
- ・みんなが考えた工夫がおもしろかった。とくに、(映像の)耐震工事の説明がおもしろくて作ったものががんじょうなのが伝わるとおもいます。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・多様な発信方法を身につけることで選択の幅が広がり、より個別最適化した表現をすることができるようになる。
- ・ふり返りを共有することで、容易に他者参照ができ、自己の考えを深め、学習に対して意欲的になる。